



○ 草の根パートナー型

平成25年度第2回 採択内定案件

| I. 提案事業の概要 | |
|------------------------|---|
| 1. 対象国名 | ラオス |
| 2. 事業名 | 少数民族の子どもたちのための、就学前・初等教育における指導能力改善事業 |
| 3. 事業の背景と必要性 | ラオス国は2015年のEFA (Education for All) とMDGs (国連ミレニアム開発目標) の達成に向けて、教育のアクセスと質の両側面から改善に努めてきているが、その取り組みは地方農村部や少数民族が多く暮らす地域までには行き届いておらず、中央と地方の格差が広がっている。当会では、少数民族の子どもたちの教育の課題を定め、現職の教員育成、教材開発、コミュニティの学校運営の参画、そして教育行政官のモニタリング能力向上を通じて、教育の質の改善を目指す。 |
| 4. プロジェクト目標 | 就学前・初等教育における少数民族の子どもたちへの、教員の授業の指導能力が向上する。 |
| 5. 対象地域 | ラオス・ルアンパバーン県ヴィエンカム郡 |
| 6. 受益者層 (ターゲットグループ) | ヴィエンカム郡の就学前と小学校の校長、教員、児童。ヴィエンカム郡教育スポーツ事務所、ルアンパバーン県教育スポーツ局 |
| 7. 期待されるアウトプット及び活動 | <p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修を通じて、複式学級における教員の授業の準備・授業指導方法等の運営技術が向上する。 2. 少数民族の子どもたちへのラオス語の授業を補助するための指導方法・読書教材を作成する。 3. 研修を通じて、手作りを含めた指導教材・読書教材が教員によって効果的に活用される。 4. 教育行政官が初等教育における少数民族の現状と複式学級の運営方法を理解する。 <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複式学級での授業運営のための研修会 (全5活動) 2. 指導教材・読書教材の制作 (全8活動) 3. 指導教材・読書教材活用のための研修会 (全5活動) 4. モニタリングシステム作り (全3活動) |
| 8. 実施期間 | 2014年7月～2018年3月 (3年9カ月) |
| 9. 事業費概算額 | 67,246千円 |
| 10. 事業の実施体制 | ヴィエンカム郡教育スポーツ事務所、ルアンパバーン県教育スポーツ局、ラオス教育スポーツ省、国立教育研究所、SVAラオス事務所のプロジェクトマネージャー、事業運営管理者、副調整員が協力し、教員養成研修会、教材開発、モニタリング、評価、報告をする。 |
| II. 応募団体の概要 | |
| 1. 団体名 | 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会 (略称SVA) |
| 2. 活動内容 | 学校建設、図書館活動、絵本出版活動、児童館活動、緊急救援 |